

令和3年2月22日

保護者の皆様

小田原市立城山中学校
校長 中島 正視

令和2年度学校評価アンケート（保護者）集計結果について

年末年始のお忙しい中、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

昨年度より保護者アンケートにつきましては、項目を厳選して実施しています。令和2年度は次のような集計結果となりましたことをご報告いたします。

回答いただいた総数 263名 (87.7%)

〈アンケート結果から見た状況と課題について〉

■ 良好と考えられる項目（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が90%以上）

- ◎設問 3「学校は生徒の健康・安全に対して十分に配慮している。」(97%)
- ◎設問 5「学校は子どもをよく理解し、適切に指導している」(90%)
- ◎設問 7「学校は家庭への連絡や情報提供を適切に行っている。」(97%)
- ◎設問11「子どもは人の嫌がることやほかの人の迷惑になるようなことはしない。」(93%)
- ◎設問13「子どもは学校で決められたことを守っている。」(95%)
- ◎設問14「子どもは思いやりの気持ちを持っている。」(96%)

■ 概ね良好と考えられる項目（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が85～89%）

- ◎設問 4「学校の評価や通知票の評価は納得できる」(85%)
- ◎設問 6「学校は子どもや保護者の思いを受け止め、子どもに応じた教育相談を行っている」(88%)
- ◎設問 9「子どもは学校が楽しいと話している。」(88%)

■ 上記以外で肯定的な回答が多かった項目

- ◎設問 1「学校は目指す生徒や経営の努力点をわかりやすく伝えている」(83%)
- ◎設問 2「学校は保護者や地域の方々の要望や願いに応えている」(84%)
- ◎設問 8「学校は保護者や地域の方々と連携・協力ができている。」(83%)
- ◎設問10「子どもは悪いことは悪いといえる勇気を持っている」(84%)
- ◎設問12「子どもは進んであいさつをする。」(80%)

今年度は、コロナ禍の中で、感染防止のため、学校が二ヶ月間休校となり、6月からのスタートでした。今まで、当たり前に行われてきた授業・行事が思うようにできなかつたり、PTA活動や地域との交流もほとんどできない状態でした。限られた時間で生徒達の学力向上と心の育成に重点を置き、学校職員が一体となって教育活動に取り組みました。「深く学ぶ授業」をめざし研修に力を注ぎ、授業質を高められるように努力をしました。また、心のケアを大切に考え教育相談を充実させ、生徒理解に努めました。これからも全力で、生徒達のために教育に力を注いでいきたいと考えています。

■ 改善の必要があると考えられる項目と課題改善の方策

（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が比較的低いものとして）

例年のアンケートでは、「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が70%以下の設問の内容を改善の必要があると考えられる項目として捉え、課題改善の方策を報告してきましたが、4年連続で、今回のアンケート調査では該当する項目はありませんでした。その中で昨年度より上昇した項目数は11項目で上昇、1項目が同じでした。また、すべての項目で80%以上の肯定的なご意見をいただきました。

◎設問 12「子どもは進んで挨拶をする」(80%)

学校に来校する高等学校の先生や地域の方々かには、挨拶についてはお褒めの言葉をいただくことが多いのですが、この言葉に甘んずることなく、基本的生活習慣の向上をめざし、生徒の育成に努めていきたいと考えます。

今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いします。

〔 担当 永山
電話 0465-34-0209 〕